

通信型研修 各講座の内容

特別支援

S001 実践から学ぶ特別支援教育 (小学校) 特別支援教育の視点を取り入れた授業改善		研修時間	約20分
		主な対象	第2S
目標	小学校の実践から、特別支援教育の視点を取り入れた授業研究会、授業改善の方策について学ぶ。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体を巻き込んで行った授業研究会の実際 ・特別支援教育の視点を取り入れた授業改善 ・特別支援教育コーディネーターの役割 		
S002 実践から学ぶ特別支援教育 (中学校) 通常学級に在籍する生徒(LD)への適切な合理的配慮の決定に向けて		研修時間	約25分
		主な対象	第2S
目標	読み書きに困難さがある通常の学級生徒に対する支援の経過から、合理的配慮の決定に向けての基本的な考え方を学ぶ。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮の決定に向けたプロセス ・学校の理解と対応 ・生徒本人の自己理解 		
S003 実践から学ぶ特別支援教育 (高校通級) 感情のコントロールに困難さのある生徒を支えた3年間の高校での取組		研修時間	約25分
		主な対象	第2S
目標	対人関係のトラブルが多い生徒に対する支援の実践を通して、校内体制の整備、高校通級の具体的な活用について学ぶ。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高校における通級指導の実際 ・校内支援体制整備に向けた具体的取組と特別支援教育コーディネーターの役割 ・長期的な視点 		
S004 実践から学ぶ特別支援教育 (高等学校) 特別な支援を必要とする生徒を支える校内体制を整えるための取組		研修時間	約25分
		主な対象	第2S
目標	職業系高校の実践から、高等学校における特別支援教育の校内支援体制、特別支援教育コーディネーターの実務、外部機関との連携について学ぶ。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援体制整備に向けた具体的取組と特別支援教育コーディネーターの役割 ・高校における通級指導の実際 ・関係機関との連携 		